

2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月2日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL <https://www.jsr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) エリック ジョンソン
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 武田 佳子 TEL 03-6218-3517
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日~2021年6月30日)
(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期 第1四半期	82,310	21.9	12,551	56.5	11,149	39.0	8,643	654.2	8,163	623.8	10,689	439.1
2021年3月期 第1四半期	67,542	-	8,020	-	8,020	-	1,146	△85.7	1,128	△84.5	1,983	△63.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期 第1四半期	37.98	37.93
2021年3月期 第1四半期	5.25	5.24

(参考) 税引前四半期利益 2022年3月期第1四半期 11,053百万円 (52.1%) 2021年3月期第1四半期 7,266百万円 (-)

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

(注) 当第1四半期連結会計期間より、エラストマー事業を非継続事業に分類し、非継続事業からの損益は要約四半期連結財務諸表上、継続事業と区分して、売上収益、コア営業利益、営業利益、税引前四半期利益は継続事業の金額を表示しております。

なお、前年同四半期連結累計期間についても同様に組み替えて表示しているため、これらの対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期 第1四半期	683,995	374,401	338,040	49.4	1,572.81
2021年3月期	672,773	370,736	333,995	49.6	1,554.17

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2022年3月期	-				
2022年3月期(予想)		30.00	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	318,000	△32.1	43,000	△18.9	43,000	△18.9	30,000	△14.3	27,000	△15.6	125.64

（参考）税引前利益 通期 42,500百万円

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

（注）当第1四半期連結会計期間より、エラストマー事業を非継続事業に分類し、非継続事業からの損益は2022年3月期の連結業績予想上、継続事業と区分して、売上収益、コア営業利益、営業利益、税引前利益は継続事業の金額を表示しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	226,126,145株	2021年3月期	226,126,145株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	11,199,440株	2021年3月期	11,223,335株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	214,914,109株	2021年3月期1Q	214,728,281株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2021年8月2日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年4月1日から同年6月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界の動向といたしましては、半導体市場は、引き続きデジタル化の進展によるインフラやデバイス需要の拡大により好調でした。フラットパネルディスプレイ市場もパネル生産が堅調に推移しました。又、バイオ医薬品関連市場は引き続き好調でした。自動車生産及びタイヤ生産については、需要の回復基調が継続し、前年を大きく上回りました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、グローバル市場での成長性が大きく、当社の強みである技術革新力をより発揮できるデジタルソリューション事業とライフサイエンス事業の事業拡大に注力しました。エラストマー事業につきましては、高い技術力を持ち、国際的な信頼を獲得しておりますが、グローバル競争が激化するなど、事業環境は厳しさを増している状況でした。そのような環境下で、収益改善策と事業構造改革に取り組みつつ、戦略的アプローチの見直しを進めてきた結果、エラストマー事業の今後の成長のために、当社の子会社として新たに設立する日本合成ゴム分割準備株式会社に当社のエラストマー事業を吸収分割の方法により承継させた上で、日本合成ゴム分割準備株式会社の全株式をENEOS株式会社に譲渡することを決定いたしました。国内外の競争法その他の法令等に基づき必要なクリアランス・許認可等の取得をした上で、2022年4月に株式譲渡をする予定です。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、エラストマー事業を非継続事業に分類しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の表示形式に合わせ、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書、及び関連する要約四半期連結財務諸表注記を一部組替えて表示しております。

デジタルソリューション事業では、半導体材料事業においては最先端技術に対応した製品の拡販を、ディスプレイ材料事業では引き続き成長が期待される中国市場において競争力のある製品を中心に拡販を進めました。

ライフサイエンス事業では、米国の統括会社が当該事業全体の戦略を主導し、バイオ医薬品の開発・製造受託（CDMO事業）、医薬品の開発受託（CRO事業）を中心に拡大に努め売上収益が大幅に増加しました。

合成樹脂事業では、需要の回復を取り込み売上収益を大きく伸ばし、さらに戦略製品の拡販を進めました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益は823億10百万円（前年同期比21.9%増）、コア営業利益125億51百万円（同56.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益81億63百万円（同623.8%増）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
デジタルソリューション事業	36,341	53.8%	39,272	47.7%	2,931	8.1%
ライフサイエンス事業	12,606	18.7%	16,334	19.9%	3,729	29.6%
合成樹脂事業	16,206	24.0%	23,754	28.9%	7,548	46.6%
その他事業	2,390	3.5%	2,950	3.5%	560	23.4%
調整額	0	0.0%	△0	△0.0%	△0	△200.0%
合計	67,542	100.0%	82,310	100.0%	14,768	21.9%
国内売上収益	21,076	31.2%	27,502	33.4%	6,426	30.5%
海外売上収益	46,466	68.8%	54,808	66.6%	8,342	18.0%

(単位：百万円)

区分	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上 収益比	金額	売上 収益比	金額	比率
コア営業利益	8,020	11.9%	12,551	15.2%	4,530	56.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,128	1.7%	8,163	9.9%	7,035	623.8%

① デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、好調な半導体市場を背景とした販売拡大により売上収益は前年同期を上回りました。コア営業利益は、半導体材料の売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比8.1%増の392億72百万円、コア営業利益は前年同期比34.3%増の104億42百万円となりました。

② ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、主にCDMO事業、CRO事業及びバイオプロセス材料の販売拡大により売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、成長投資による費用の増加はあったものの、売上収益の増加により前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比29.6%増の163億34百万円、コア営業利益は前年同期比44.1%増の11億84百万円となりました。

③ 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、昨年度低迷していた自動車生産の回復を背景に、販売数量を大きく伸ばしたことにより、売上収益は前年同期を上回りました。コア営業利益は、売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比46.6%増の237億54百万円、コア営業利益は前年同期比272.2%増の18億61百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月11日の「非継続事業の分類及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	85,377	70,510
営業債権及びその他の債権	125,292	73,940
棚卸資産	104,862	75,051
その他の金融資産	1,933	283
その他の流動資産	11,815	8,748
小計	329,279	228,533
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産	—	161,883
流動資産合計	329,279	390,417
非流動資産		
有形固定資産	170,428	141,859
のれん	58,633	58,795
その他の無形資産	15,014	13,545
持分法で会計処理されている投資	21,015	4,967
退職給付に係る資産	4,905	4,898
その他の金融資産	49,751	46,287
その他の非流動資産	3,598	2,644
繰延税金資産	20,150	20,584
非流動資産合計	343,494	293,578
資産合計	672,773	683,995

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	100,797	60,578
契約負債	9,368	10,358
借入金	37,872	20,207
未払法人所得税	4,866	4,076
引当金	1,837	378
その他の金融負債	3,874	2,367
その他の流動負債	10,196	4,874
小計	168,810	102,838
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	—	106,452
流動負債合計	168,810	209,289
非流動負債		
契約負債	7,861	13,329
社債及び借入金	81,406	53,825
退職給付に係る負債	16,434	10,231
その他の金融負債	19,314	14,672
その他の非流動負債	5,136	5,133
繰延税金負債	3,077	3,115
非流動負債合計	133,227	100,304
負債合計	302,036	309,593
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	11,562	11,516
利益剰余金	302,916	304,949
自己株式	△19,202	△19,161
その他の資本の構成要素	15,348	17,365
親会社の所有者に帰属する持分合計	333,995	338,040
非支配持分	36,741	36,362
資本合計	370,736	374,401
負債及び資本合計	672,773	683,995

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
継続事業		
売上収益	67,542	82,310
売上原価	△41,762	△50,545
売上総利益	25,780	31,765
販売費及び一般管理費	△17,647	△19,279
その他の営業収益	432	496
その他の営業費用	△406	△1,775
持分法による投資損益	△140	△59
営業利益	8,020	11,149
金融収益	158	298
金融費用	△912	△395
税引前四半期利益	7,266	11,053
法人所得税	△2,124	△2,716
継続事業からの四半期利益	5,142	8,336
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益(△損失)	△3,996	307
四半期利益	1,146	8,643
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,128	8,163
非支配持分	18	480
合計	1,146	8,643

親会社の所有者に帰属する1株当たり

四半期利益(△損失)

基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	5.25	37.98
継続事業	23.05	35.26
非継続事業	△17.80	2.72
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	5.24	37.93
継続事業	23.01	35.21
非継続事業	△17.77	2.72

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	1,146	8,643
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	1,096	867
確定給付負債(資産)の再測定額	—	70
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	3	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△5	△0
在外営業活動体の換算差額	613	564
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△871	547
税引後その他の包括利益合計	837	2,045
四半期包括利益合計	1,983	10,689
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	1,372	10,416
非支配持分	610	273
合計	1,983	10,689

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日残高	23,370	18,242	369,102	△19,547	5,626	396,793	40,619	437,412
四半期利益			1,128			1,128	18	1,146
その他の包括利益					245	245	592	837
四半期包括利益合計	-	-	1,128	-	245	1,372	610	1,983
株式報酬取引		△38			73	35		35
配当金			△6,441			△6,441	△462	△6,904
自己株式の変動		△7		45		38		38
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			3		△3	-		-
非支配持分の変動		△257				△257	△43	△300
その他の増減額		7	△561		460	△95	0	△94
所有者との取引額等合計	-	△296	△7,000	45	530	△6,721	△505	△7,225
2020年6月30日残高	23,370	17,946	363,231	△19,502	6,400	391,444	40,725	432,169

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年4月1日残高	23,370	11,562	302,916	△19,202	15,348	333,995	36,741	370,736
四半期利益			8,163			8,163	480	8,643
その他の包括利益					2,253	2,253	△208	2,045
四半期包括利益合計	-	-	8,163	-	2,253	10,416	273	10,689
株式報酬取引		△29			82	53		53
配当金			△6,447			△6,447	△653	△7,100
自己株式の変動		△12		41		28		28
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			318		△318	-		-
その他の増減額		△6				△6		△6
所有者との取引額等合計	-	△47	△6,129	41	△236	△6,371	△653	△7,024
2021年6月30日残高	23,370	11,516	304,949	△19,161	17,365	338,040	36,362	374,401

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業が中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは従来、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、「ライフサイエンス事業」、自動車タイヤ用途の汎用合成ゴム、自動車部品用途の機能性特殊合成ゴム、樹脂改質用途の熱可塑性エラストマー、塗工紙用途の合成ゴムラテックス等を製造販売しております「エラストマー事業」、及び自動車やOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「デジタルソリューション事業」、「ライフサイエンス事業」、「合成樹脂事業」の3つを報告セグメントとしております。

この変更は、当社が当社の子会社として新たに設立する日本合成ゴム分割準備株式会社に当社のエラストマー事業の一部を吸収分割の方法により承継させた上で、日本合成ゴム分割準備株式会社の全株式をENEOS株式会社に譲渡することを決定し、2021年5月11日付で、ENEOS株式会社との間で株式譲渡契約書を締結したのに伴い、エラストマー事業を非継続事業に分類したことによるものです。当社が日本合成ゴム分割準備株式会社に承継しないエラストマー事業の一部は金額的な重要性が低下したため、「その他」へ区分を変更しております。

なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性に基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

当社は、当第1四半期連結会計期間よりエラストマー事業を非継続事業に分類しており、セグメント情報はエラストマー事業を除く継続事業のみの金額を表示しております。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
デジタルソリューション事業	<半導体材料事業> リソグラフィ材料（フォトリソグ、多層材料）、実装材料、洗浄剤、CMP材料、等 <ディスプレイ材料事業> カラー液晶ディスプレイ材料、有機ELディスプレイ材料、等 <エッジコンピューティング事業> 耐熱透明樹脂および機能性フィルム、光造形、等
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬および同材料、バイオプロセス材料、創薬支援サービス、等
合成樹脂事業	A B S樹脂、A E S樹脂、A S樹脂、A S A樹脂等の合成樹脂

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタル ソリューション	ライフサイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収益	36,341	12,606	16,206	2,390	67,542	0	67,542
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	7,777	822	500	197	9,296	△1,276	8,020

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学品等の仕入・販売の事業等を含んでおります。
2. セグメント損益の調整額△1,276百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。
3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタル ソリューション	ライフサイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収益	39,272	16,334	23,754	2,950	82,310	△0	82,310
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	10,442	1,184	1,861	211	13,699	△1,148	12,551

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学品等の仕入・販売の事業等を含んでおります。
2. セグメント損益の調整額△1,148百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。
3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

セグメント損益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
セグメント損益	8,020	12,551
子会社出資金評価損	-	△1,401
営業利益	8,020	11,149
金融収益	158	298
金融費用	△912	△395
税引前四半期利益	7,266	11,053